

## 理学部附属 植物園のいきものたち

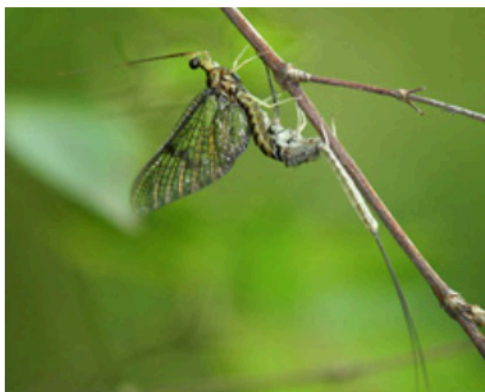
## 第12回



▲写真1 チビクワガタ

写真1(上):チビクワガタ

クワガタとはいってもオオクワガタやノギリクワガタなどと違って大あごは小さい。2月の観察会のときに朽木の中から掘り出された越冬個体である。カブトムシと違ってクワガタムシの仲間はこのように成虫で越冬し、数年生きるものが多い。幼虫期に朽木を食べて暮すという点は他のクワガタ類と同様であるが、本種の成虫は肉食性で他の昆虫を襲ってその体液を吸う。



▲写真2 モンカゲロウ

写真2(下):モンカゲロウ

カゲロウは英語で mayfly というが、4月から5月に多く現れる羽虫である。幼虫は流水棲で、春に羽化する。カゲロウ類は不完全変態の昆虫で若虫と成虫の間に亜成虫というステージがある。水中から羽化して亜成虫となったモンカゲロウは2日ほど木の枝に止まって暮し、その後もう一度羽化して成虫となり繁殖活動を始めます。この写真は亜成虫から成虫に羽化しているところである。植物園には流水はほとんどないので、この個体は近くを流れる疎水で羽化した亜成虫が飛んできたのであろう。